

2 麦の部

(1) 大麦 農業試験場における成績

品 種 名 (両親名)	奨励及び 認定品種 編入年次 育成地	出 穂 期 (月日)	成 熟 期 (月日)	稈 長 (cm)	穂 長 (cm)	穂 数 (本/㎡)	子 実 収 量 (kg/10a)	容 積 重 (g/トリット)	千 粒 重 (g)	品 質	耐 倒 伏 性	株 の 開 閉	穂 型	芒 の		播 性 程 度	耐 寒 性	耐 雪 性	斑 葉 病	う ど ん こ 病	穂 発 芽 性	特性並びに栽培上の注意	適応地帯
														多 少	長 短								
ファイバースノウ [シュンライ / 東山皮 86号]	奨励 平 13 長野農事試	5.3	6.8	91	5.0	538	767	722	38.6	中中	強	中	6条	多	長	IV	強	極強	—	中	易	やや早生、やや長稈。稈はやや剛で倒伏に強い。穂長はやや長く、穂数はやや少ない。大粒で外觀品質が良く、多収である。精麦加工適性に優れる。耐寒、耐雪性に優れる。せき薄地など条件により空洞粒発生のおそれがあるので、止葉展開期の追肥を実施するなど、肥培管理を適正に行う。初期生育を確保するため適期播種に努め、十分な穂数を確保するために越冬後の追肥を行う。	県下全域
東山皮糯 109号 (ホワイトファイバー) [東山系糯 437 / 東山皮 96号 (ファースト)]	奨励 平 28 長野農事試	5.2	6.7	89	5.1	492	696	718	36.4	中中	強	中	6条	多	長	I	やや強	強	—	やや強	中	やや早生、中稈で強稈。穂長はやや長く、穂数は少ない。糯性で精麦加工適性に優れる。うどんこ病抵抗性はやや強。秋播性程度が低いので極端な早播きは避ける。十分な穂数を確保するために越冬後の追肥を行い、千粒重確保のため止葉展開期の追肥を実施するなど肥培管理を適正に行う。	積雪地を除く標高 800m以下の地帯
シュンライ [ミノリムギ / 東山皮 68号]	認定 平 28 (奨励 平 2) 長野農事試	5.1	6.6	84	4.6	516	700	715	38.1	中下	強	中	6条	多	長	I	やや強	やや強	—	中	易	やや早生、中稈で強稈。穂長はやや長く穂数中位。大粒で外觀品質は良く、多収である。精麦加工適性に優れる。うどんこ病抵抗性は中、斑葉病に強い。秋播性程度が低いので極端な早播きは避ける。せき薄地など条件により空洞粒発生のおそれがあるので、止葉展開期の追肥を実施するなど、肥培管理を適正に行う。	積雪地を除く標高 800m以下の地帯

※耕種方法：播種期 10月24日～11月5日。播種量はファイバースノウ7kg/10aを基準とし、千粒重により増減。ドリル播栽培。

※データは、平成21年～平成27年度(播種年度)のうち収量最高、最低年を除く5ヶ年の平均値。

(2) 小麦 農業試験場における成績

品 種 名 (両親名)	奨励及び 認定品種 編入年次 育成地	出 穂 期 (月日)	成 熟 期 (月日)	稈 長 (cm)	穂 長 (cm)	穂 数 (本/㎡)	子 実 収 量 (kg/10a)	容 積 重 (g/トリス)	千 粒 重 (g)	品 質	耐 倒 伏 性	株 の 開 閉	穂 型	芒 の		播 性 程 度	耐 寒 性	耐 雪 性	斑 葉 病	う ど ん こ 病	穂 発 芽 性	特性並びに栽培上の注意	適応地帯
														多 少	長 短								
ハナマンテン 〔KS831957 ／ 西海179号〕	認定平18 長野農事試	5.5	6.17	75	9.3	699	689	808	39.7	中中	中	やや閉	紡錘状	やや少	やや長	II	中	やや弱	—	中	難	早生、中稈でやや強稈。耐寒性は中、耐雪性はやや弱で穂発芽性は難。中華麵用の硬質小麦。穂数は多く、多収。高蛋白質で中華麵加工適性の良い小麦を生産するため、茎立期と止葉展開期以降にそれぞれ追肥を実施する。	積雪地を除く標高700m以下の地帯
シラネコムギ 〔北陸49号 ／ 東海80号〕	奨励昭62 長野農事試	5.9	6.20	85	8.6	525	684	805	41.6	中中	強	やや閉	紡錘状	中	中	IV	強	中	中	やや強	中	中生、中稈、強稈で草姿は良い。穂数は中位で、多収。耐寒性が強く耐雪性は中である。粉の色は白く良質で、製麵適性が良い。密播、多肥栽培に適するが、せき薄地・少肥条件では収量性が十分発揮されない場合がある。穂発芽性は中なので、適期収穫を行う。	積雪地を除く標高900m以下の地帯
しゅんよう 〔東北148号 ／ 東山10号〕	認定平6 長野農事試	5.10	6.22	80	9.4	671	646	800	39.5	中中	強	やや閉	紡錘状	中	中	IV	強	中	—	中	難	中生、中稈で強稈。穂長が長く、穂数が多く多収。耐寒性が強く、耐雪性は中。穂発芽性は難。極良質で粉は黄色味が強く、製麵適性が良い。多肥栽培に向く。蛋白質含量が低いので、止葉展開期に追肥を実施する。	積雪地を除く標高900m以下の地帯
ユメセイキ 〔関東107号 ／ 東山24号〕	認定平13 長野農事試	5.10	6.21	82	9.2	488	712	805	40.2	中中	強	やや開	紡錘状	やや少	中	IV	強	やや弱	—	やや強	難	低アミロース系統。中生、中稈で強稈。穂数は少なく、穂長はやや長く多収。耐寒性強いが、耐雪性はやや弱い。穂発芽性は難。良質で粉の色は白く、製麵適性が良い。ゆでうどんのもちもちした食感が特徴的である。越冬性が十分ではないので、適応標高を越えて栽培しない。	積雪地を除く標高700m以下の地帯

※耕種方法：播種期10月24日～11月5日。播種量はシラネコムギ7kg/10aを基準とし、千粒重により増減。ドリル播栽培。

※データは、平成21年～平成27年度（播種年度）のうち収量最高、最低年を除く5ヶ年の平均値。

品 種 名 (両親名)	奨励及び 認定品種 編入年次 育成地	出 穂 期 (月日)	成 熟 期 (月日)	稈 長 (cm)	穂 長 (cm)	穂 数 (本/㎡)	子 実 収 量 (kg/10a)	容 積 重 (g/トリット)	千 粒 重 (g)	品 質	耐 倒 伏 性	株 の 開 閉	穂 型	芒 の		播 性 程 度	耐 寒 性	耐 雪 性	斑 葉 病	う ど ん こ 病	穂 発 芽 性	特性並びに栽培上の注意	適応地帯
														多 少	長 短								
フウセツ 〔東山23号 ／ 東山24号〕	認定平14 長野農事試	5.9	6.21	79	9.0	548	750	800	39.8	中上	強	中	紡錘状	中	中	IV	強	強	—	中	難	中生、短稈で強稈。穂数はやや少なく、穂長はやや長い。耐倒伏性が強く、穂発芽は難。耐寒、耐雪性が特に優れる。粉は極良質で、明るい黄色味があり、製麺適性は良い。蛋白質含量が低いので、止葉展開期に追肥を実施する。	県下全域（高冷地及び多積雪地帯）
ゆめかおり 〔西海180号 (シノカサ) ／ KS831957〕	認定平22 長野農事試	5.8	6.17	89	7.1	735	614	823	43.6	中中	強	やや閉	紡錘状	やや少	中	II	中	弱	強	やや強	やや難	早生、やや長稈で穂数は多いが穂長が短く、耐倒伏性は強い。大粒で千粒重も大きい。耐寒性は中、耐雪性は弱い。穂発芽性はやや難。蛋白質含量はやや高く、強力粉の特性を持ち、製パン適性に優れる。高蛋白質で製パン性の高い良質な小麦を生産するため、止葉展開期以降に追肥を実施する。	積雪地を除く標高700m以下の地帯
ゆめきらり 〔アブクサ ／ホクソ ／ 東山30号 (キヌメ)〕	認定平25 長野農事試	5.8	6.17	87	9.0	576	679	808	42.3	中中	やや強	やや閉	紡錘状	やや少	やや短	IV	やや強	中	—	中	やや難	早生、中稈で穂数は多く、穂長は長く多収である。耐寒性はやや強、耐雪性は中、コムギ萎縮病、コムギ萎縮病抵抗性が優れ、穂発芽性はやや難である。製粉性に優れ、粉の色は明るい白色である。適正な蛋白質含量確保のため止葉展開期に追肥を実施する。	積雪地を除く標高700m以下の地帯

※耕種方法：播種期10月24日～11月5日。播種量はシラネコムギ7kg/10aを基準とし、千粒重により増減。ドリル播栽培。

※データは、平成21年～平成27年度（播種年度）のうち収量最高、最低年を除く5ヶ年の平均値。